



2020年

加温ハウス サクランボ防除暦

JA中野市営農センター

散布日	散布時期	散布薬剤（水 100ℓ当り）		収穫前 使用時期	使用回数 （以内）	散布量 （ℓ）	対象病害虫 （発生病害虫）	注 意 事 項
月 日	【特別散布】 発芽前	スプレーオイル	2ℓ	発芽前	—	300	カイガラムシ類	①カイガラムシ類 多発園は、アプロードフロアブルの 1,000 倍（7日前、2回）を加用する。
月 日	【特別散布】 開花前	樹幹散布 フェニックスフロアブル	200mℓ	開花期まで	1回	10a当り 5～200ℓ	コスカシバ	①樹幹部及び主枝に十分散布する。
月 日	開花直前	① 展着剤 オーシャインフロアブル サムコルフロアブル 10	10mℓ 33mℓ 40mℓ	前日 前日	5回 3回	350	ハマキムシ類 灰星病（花腐れ）	①ウメシロカイガラムシ（アブラムシ類）発生園は、バリアード顆粒水和剤の 4,000 倍（前日、2 回）を加用する。
特別散布：開花期間中に、灰星病（花腐れ等）の発生が心配される場合は、ベルコートフロアブル 2,000 倍（7日前、3 回）を散布する。								
月 日	落花期 訪花昆虫 引き上げ後	② アーデントフロアブル ナリア WDG	25mℓ 50g	前日 前日	3回 3回	400	オウトウショウジョウバエ 灰星病 炭そ病 黒斑病 幼果菌核病	①この散布はミツバチへの影響が大きいため、ミツバチ引き上げ後に散布する。
特別散布：【灰星病対策】ベルコートフロアブルの 2,000 倍（7日前、3 回）【ショウジョウバエ類対策】バイスロイド EW の 4,000 倍（7 日前、2 回）を散布する								
月 日	肥大期 【果実黄化前】	③ オンリーワンフロアブル コテツフロアブル	50mℓ 50mℓ	前日 7日前	3回 2回	500	灰星病 炭そ病 ナミハダニ オウトウショウジョウバエ	
月 日	収穫終了後	④ 展着剤 コロマイト乳剤 キンセツ水和剤 80 スプラサイド水和剤	10mℓ 100mℓ 100g 66g	7日前 収穫後～落葉期 7日前	1回 3回 3回	500	ハダニ類 せん孔病 カイガラムシ類 （ケムシ類）	
月 日	6月中旬	⑤ 展着剤 ダニゲッターフロアブル オキシラン水和剤 ダイアジノン水和剤 34	10mℓ 50mℓ 166g 100g	前日 収穫後～落葉期 14日前	1回 3回 2回	500	ハダニ類 せん孔病 アメリカシロヒトリ ハマキムシ類	①ダニゲッターフロアブルは、「シャインマスカット」や「開花期の水稻」にかかるると薬害を生じるため、飛散しないよう注意する
月 日	7月上旬 （前回から 14 日後）	⑥ 展着剤 カネマイトフロアブル トレノックスフロアブル アルバリン顆粒水溶剤	10mℓ 100mℓ 200mℓ 50g	7日前 21日前 前日	1回 5回 2回	500	ハダニ類 褐色せん孔病 カメムシ類	
月 日	7月下旬 （前回から 14 日後）	⑦ 展着剤 オキシラン水和剤 スプラサイド水和剤	10mℓ 166g 66g	収穫後～落葉期 7日前	3回 3回	500	せん孔病 カイガラムシ類 カメムシ類 （ケムシ類）	①ハダニ類 発生園は、ダニコングフロアブルの 2,000 倍（前日、1回）を加用する。
月 日	8月上中旬 （前回から 14 日後）	⑧ 展着剤 トレノックスフロアブル	10mℓ 200mℓ	7日前 21日前	1回 5回	500	褐色せん孔病	
月 日	9月上中旬	⑨ 展着剤 トレノックスフロアブル スミチオン水和剤 40	10mℓ 200mℓ 125g	21日前 14日前	5回 2回	500	褐色せん孔病 ケムシ類 （ハマキムシ類） （アメリカシロヒトリ） （コスカシバ）	①スミチオン水和剤 40 に代えてスミチオン乳剤の 1,000 倍（14 日前、2 回）を使用してもよい。 ②コスカシバが発生する場合は、落葉後にラビキラー乳剤 200 倍（落葉後～発芽前、1 回）を樹幹部及び主枝に十分散布する。

当防除暦の複製・コピーを禁止します